

スリルとファンタジーが共存する『地下王国』がテストオープン

やみ 2011 光と闇の王国

2011年2月11日(金・祝)～3月6日(日)

東洋一の輝きを目指して開催中のハウステンボス「光の王国」が、2月11日(金・祝)に「光と闇の王国」へと進化。街の地下に張り巡らされたトンネルを巡るツアー『地下王国』や、和風お化け屋敷『日本の怪談屋敷』が新登場します。

「光と闇の王国」とは、第一章「光の街」(2010年11月1日～19日)第二章「光の王国」(11月20日～2011年2月10日)に次ぐ第三章として、夜に輝く700万球のイルミネーション(光)に、日中も天候を問わず楽しめる“光と闇”が加わり、さらに進化するものです。

その“光と闇”のメインとして、場内のインフラ設備を格納している地下トンネル「共同溝」の一部を巡ることができる『地下王国』が新登場。人ひとりがやっと通ることができる狭く暗い通路に、効果音や光、謎解きなど環境演出を施し、ガイドとともに進んでいくスリリングかつファンタジックな新感覚探検ツアーです。今回はテストオープンとして2月11日(金・祝)から3月6日(日)までの期間限定で展開し、今後規模を拡大して初夏以降に展開予定です。

そして、昨年夏にリニューアルオープンした世界最大級のホラータウン「スリラー・ファンタジー・ミュージアム」にも、『日本の怪談屋敷』が新登場。お岩さんや耳なし芳一など古くから日本に伝承される怪談の世界を再現した、ウォークスルー型和風お化け屋敷です。エリア内に開館中の「ゴーストウエディング」「メロディ・イン・ザ・ダーク」に次ぐ3つ目のホラーハウスの登場で、より魅力的なホラータウンへと進化します。

全天候型の昼の「怖～い」楽しみが加わりパワーアップする「光と闇の王国」に、是非ご期待ください。

「共同溝」とは、ハウステンボスの地下にある3.2^{キロ}のトンネル。この中で電気や水、エネルギー供給のパイプなどのインフラ設備を埋設していることによって、電柱や電線が一本もない美しい地上の景観をつくり出しています。

概要

『地下王国』

期 間 2月11日(金・祝)～3月6日(日)

料 金 600円(予定)

靴・つなぎレンタル、ロッカー使用料は別途

所要時間 約20分

受付場所 ビネスタッド地区ジパング探偵倶楽部発見報告所

受付時間 9:30～19:00

安全確保のためにも入場制限を設けております。

歩きやすい靴(スニーカーなど)でご参加ください。

共同溝内部イメージ



『日本の怪談屋敷』

期 間 2月11日(金・祝)より常設

料 金 300円(予定)

場 所 スリラー・ファンタジー・ミュージアム内(旧シーボルト出島蘭館)

番町皿屋敷イメージ

【本件に関するお問い合わせ先】 宣伝課 中野、内園 0956-27-0180
【お客様のお問合せ先】 ハウステンボス総合案内センター 0956-27-0001
公式ホームページ <http://www.huistenbosch.co.jp>